* * *

昭和三十一年発行の大阪市地図を見ると、いまの国鉄環状線が西成線となっている。なんでそんなところに西成線か。

ある本によるとこうらしい。西成区が最初に発足した当時はいまの東淀川区辺までで、それが第一次西成区という。その後人口が多くなるにつれて分区されている。

西成という語源もあるが面倒くさいので忘れた――。

（司牡丹）

「釜ヶ崎解放会館」設立！
みなさん方の御支援を訴えます

釜ヶ崎の中に労仂者の砦を！労仂者自身の手で作りあげた労仂者自身の砦を！釜ヶ崎労仂者が長年の闘いの中でいだき続けてきた大きな夢が、今、実現に向って大きな一歩を踏み出しました。

釜ヶ崎のどまん中、西成警察署を見下ろし、彼らの蛮行ににらみをきかせる鉄骨五階建てのビル、私達はこのビルを釜ヶ崎で闘い、釜ヶ崎に連帯して闘うすべての人々の共有財産、闘いの砦とし、釜ヶ崎解放の闘いに新たな一ページを書き加えることをみなさんに訴えます。私たちはこの砦を「釜ヶ崎解放会館」と名づけます。

釜ヶ崎日雇労仂組合をはじめ、釜ヶ崎の多くの仲間は、警察・行政・地域の反動勢力の様々な妨害や弾圧にも屈せず、困難な闘いを進めてきました。二年以上におよぶ炊き出し、病人を入院させる闘い、仕事保障の闘い、暴力手配師・悪徳飯場との闘い等々、釜ヶ崎労仂者の切実な要求を基礎とする闘いは、釜ヶ崎ばかりか、広範な闘う人々の中にも支援の輪を広げ、大きな成果を蓄積してきました。「釜ヶ崎解放会館」はこの蓄積の上に設立されたものです。

闘いの砦は、敵に奪われていた労仂者魂を呼びおこし、団結を大きく促すことでしょう。釜ヶ崎のまっただ中にそびえる五階建ての砦は、敵に対する戦闘宣言であり、団結の象徴でもあります。

釜ヶ崎解放の闘いは、更に多くの闘いの拠点を私達に要求しています。労仂者の手による医療機関、労仂者のための安価な住宅、大衆食センター等々、これらの闘いの拠点は、広範な人々の支援と団結の力さえあれば、その実現は決して夢ではありません。「釜ヶ崎解放会館」の設立はその第一歩として勝ち取られようとしています。

釜ヶ崎に、更に強大で、更に強固な砦が、必ずや多くの仲間の手で建設されていくであろうことを確信し、みなさん方の御支援、御協力を訴えるものです。

（お願い）当面、一五〇〇万円の資金が必要です。可能な限りのカンパをお送り下さい。可能な限り長期の、無利子、無担保の資金を提供して下さい。

▽郵便振替―大阪三―五九七二　稲垣　浩
▽銀行―三和銀行萩之茶屋支店・普通預金〇四九―二七一〇七　稲垣　浩

釜ヶ崎解放会館設立委員会

大阪府警　作・演出・主演の大活劇
釜ヶ崎解放会館誕生の日
―個人的報告―

四月一六日午後一時一〇分頃、もう会館開きが始まっているだろうと思いながら、〝日通〟の方からヒョコヒョコ会館に向って歩いて行くと、えらい人だかり、盛会ですなあ、感心しながら、なお近づけば、なんのことはない、ほとんど私服警官、特に会館の表、銀座通りの方は人が通れないほど密集していて、時々あれは誰それや、などと歓迎会、そりゃマア、おまわりさんも長いつきあいだから、こんな所ぐらいはお祝いにかけつけても不思議はないか、それにしてもケッタイな……。

一階の食堂に入ってモチ米をセイロに移し、モチつきの準備をしていると、表では挨拶が始まってようやく開館式にとりかかったようす。

開館式というのは一種のお祭りで、お祭りは賑やかな方もカと昔から相場は決まっているが、どうも賑やかというより騒がしい。なにごとならん、とのぞいてみるに、挨拶している人を多勢のデカが取り囲んで、口々になにかをわめいている。まわりでは写真をとっている人もたくさんいた。私も、記念写真をとっとこ、とカメラを持ちだして、パチパチ参加者を写していると、突然カメラの前に手をつきだされた。何すんのや、と見ると、何を写しとるんや、なまいきなことするな。あなたどなたですか。当然な質問を発すると、うるさい、ちょっとこい、肩から腕をひき抜かんばかりにひっぱって歩き始めた。二、三歩あるいて、なんでついていかんならん、とまた疑問がわいて聞くと、ついて来たらええんや、ほなそうしようか、大人しくついて行くと㊙が整列している路次に連れて行かれた。ここで何か話がある人かな、と思うとそうではなく、ガラの悪いオッサン、人を置いて会館の前に戻る。仕方がないのでおいかけて、そのオッサンの横にたつと、まだ文句ある人のんか、冗談じゃない！文句つけたのはそっちやないか、ともかく、相手の正体を確かめにかかる。あなたどなた、お名前は……、なんでお前に言わんならんねん。お前は……、わは久保[illegible]と申します、あなたは……。久保か、覚えとこ。

ええかげんにさらせ、まわりにいた人たち、制・私服のオマワリがウロウロしてなかったら、あんなチンピラたた

たたきのめすところだ。

　ともかく、会館の前は制・私服のオマワリさんに、私服のマネをしたヤクザをまじって大混乱。善良な学徒達はあれよあれよと見守るばかり。

　そのうち、西成署の公報車、と称する大阪府警捜査部ばり車がきて、"こちら西成署長です。（官名詐称とちがうかい、集っている人達に解散するように言いなさい。"

　いつから警察は消防署になった。こういうのをマッチポンプというんやで。あんだけ、私服警官が集って大声でわめきちらせば、そりゃ人がぎょうさん集まるわな。自分達が人寄せしといて騒ぎを起こし、人に解散させようとは……。

　私はこわくなって、食堂に戻って他の人とシャッターを降ろして閉じこもった。

　しばらくすると、誰かが二階をかけまわっている。何ごとかおこったのか、と思ったけど、なんせのぞくのもこわい。

　上が静かになって、ふと二階に通じる階段の途中にオジイサンがたってはる。ガラスごしに、どなたですか・と聞くと、頭の上の帽子をさして、ケーサツ、お名前はと重ねて聞くと、再び帽子をさして、ケーサツや、言う必要ない。とやけど、きょうび、高校生でも警官や言うて……。そんなん関係ないわ、なんで入ってきはったんですか・現行犯逮捕の場合は捜索できるんや。でも、一階と二階は別棟でしょう、言うとそのオジイサン、何やったのかだまって二階へ上って行った。知ってて降りたな。

ケーサツかヤクザの殴り込みかしらんけど、ともかくコワヤナー。

　まわりも静かになったので外にでると大声で、なんやあいつ逮捕してなかったんか。私服のマネしたチンピラ。

＊　＊　＊

　後で聞いたところによると、二階はすごかったらしい。突然乱入してきた警官に、十手棒でボカボカ。騒ぎがおさまってからも、原爆被爆者のNさんが、しんどいからと横になってると、なに寝とんねん、と腹をけりあげるほどの乱暴さ。

＊　＊　＊

　逮捕者三名。うち一人は頭に五針、アゴに三針の負傷。他に負傷者二名（一人は頭に三針の負傷）。

＊　＊　＊

　逮捕者の内二名は一ヶ月上[illegible]から、一名は同日、処分保留で検察庁から釈放されている。起訴はされていない。

＊　＊　＊

　しかし、こわいでった、あんなこわいとこ、もっと行ったろ、エッヘッヘ……。

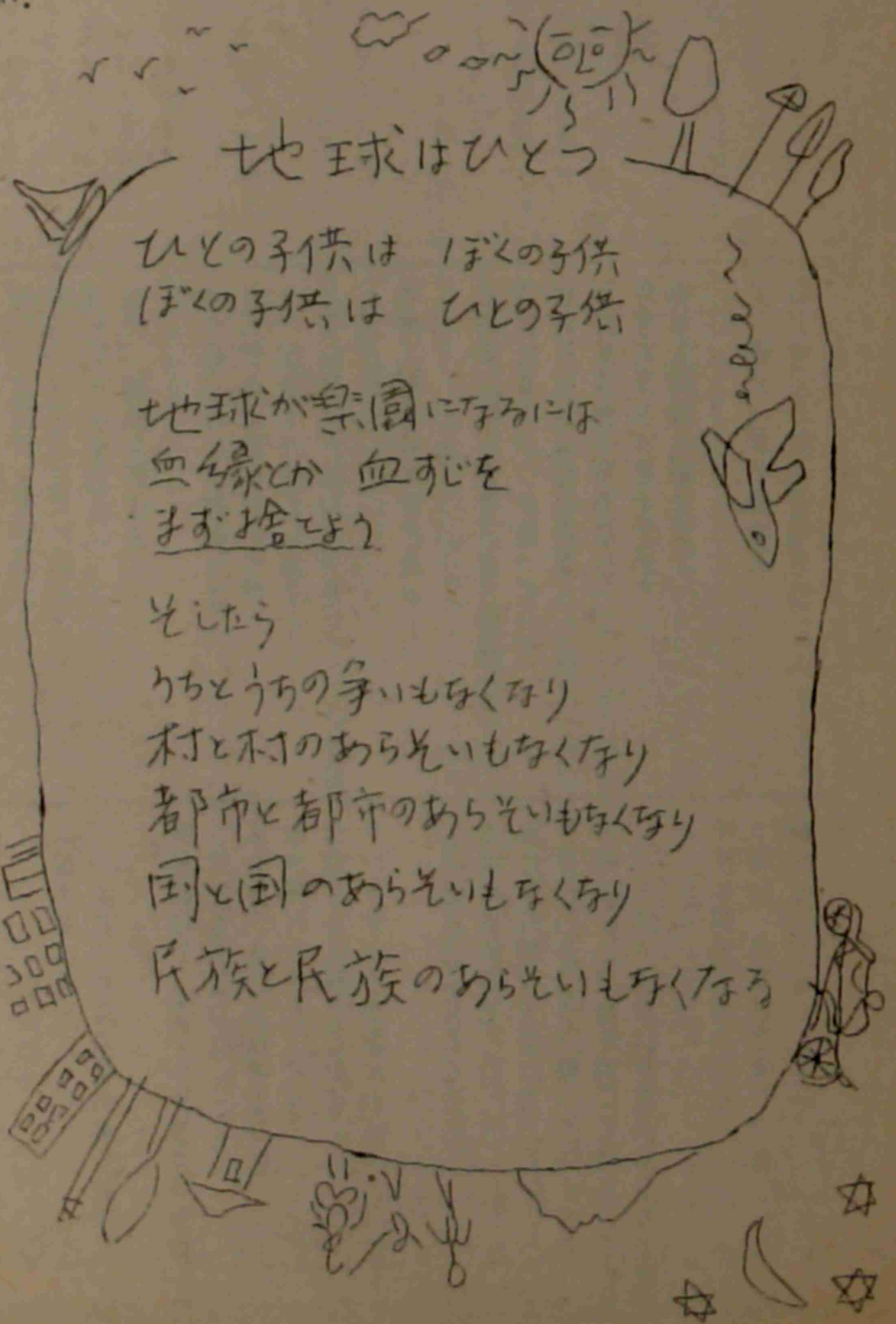
　考えようによっては、青空宣伝をするよりは、被害者たちは悪いけども、ええ宣伝になったんとちがいますか。みんなに一辺に解放会館を覚えてもろうた。

　ひょっとしたら、オマワリさん皆そのつもりで来てはったんちがうやろか、ちょ、と皮肉やったけど。

　ともかく、当日は予定より大分遅くなったけどモチつきをして幕。一階食堂は近日開店、乞御引立！　（ヤ）

読者文壇

渡世毎号賞25号分は、24頁の森先弘さん"風土病"です。賞金は御協屋で預っています。なお、アブレは5月から上りますが、毎号賞の賞金は2級の2700円に据え置き。えらいすいません。手配師は1級の印紙を貼れ！



地球はひとつ

ひとの子供は　ぼくの子供
ぼくの子供は　ひとの子供

地球が楽園になるには
血縁とか　血すじを
まず捨てよう

そしたら
うちとうちの争いもなくなり
村と村のあらそいもなくなり
都市と都市のあらそいもなくなり
国と国のあらそいもなくなり
民族と民族のあらそいもなくなる

カツ裏公園マツ四角
鉄サクなし公園三角形

天王寺公園アベックだら形
僕のかいた地球は丸みがたらん
森先　弘（三八才）

さすらい

釜も社会のハシッコの果て
ゼロになるため来たんじゃないか
国鉄のデスカバージャパンや
子供の遠足みたいに釜くんだりまで
来たんじゃない

めざす旅ははてない旅よ

太平洋一周してカッコよく帰る
北極南極砂漠の冒険
みーんな手をふり笑って帰って来る
おいらはてないマイナスの旅よ

海のむこう
山のむこう
帰らない旅よ

宗　達男（四〇才）
〈死なないていどに生きてます〉

山谷にいたときゃ
立ちんぼとよばれたの
ハマじゃ風太郎と
名乗ったの
釜にもどったその日から
マンコとよばれてくらしてる

昔の名前は忘れたよ
クラマ・テング

▲腹を立てる。不平を言う。▼
（鮟鱇の眼は泪）
流れ流れの鮟鱇には
飯場の犬は吠えやせぬ
何故に吠えぬと犬に聞きゃー
汚れ足袋は釜の人
嗚呼、鮟鱇の眼は泪ー。

その日ぐらしの鮟鱇には
立ち飲み酒場がドヤの門
ヨッパライ「神士」ゴテイネイに
「アンコ奴！メシ食ったらさっさと寝ろ！」
嗚呼　鯖の目は生き腐れー。

世の中にはじき出された鮟鱇には
汚れ仕事ばかりが待っている
それで日当小使い程度
これが浮世の定めなら
野垂れ死も浮世の定めか。
嗚呼　鮟鱇の眼は光

釜の暗さ、世の暗さ
ここがこの世の終着なら

西成ポリはエンマの大王
点脳、大臣、資本家、ドラキュラの子
孫
嗚呼世の中まっ暗くらの闇
又もや点脳のチンポコ立つのでは？

（釜の冬の夜）
中也「都会の夏の夜」のアレンジ

手配師はセンター（ドラキュラ城）に
吸血鬼のように
冬の釜ヶ崎は地獄のように
働き疲れたあんこども
日銭を手に帰ってゆく
ードラキュラ連盟がねらっているー
その酒は飲みほしても
その心は何か悲しい
頭は不機嫌な火薬になって
ただもうラァラァ歌って行くのだ。
一晩のことや祖先のことは忘れてしま
った訳ではないが釜の冬の夜の更ー
アブレ銭をもらっても
「福祉」の温情をまとった
施設金なれば

ただもう虚しく笑って
せるのだ。

姉さまはもりたくわん石（ポリ公）の
面をはりとばして
やりましたか。
松崎勝造（二五才）

天王寺　むくけき男も　花の昼
黒地の足袋が　花びら踏みて
いとど黒
朝寝みの十時
一服一銭のたばこかな
・寄せ場ホイ！・・
阿Qめきて
寄場の脈に従く
・リメンバー鈴木殺し〃と　東雅古
男娼の　ミンクのコート
もみ正月かな

私は少年時代、友達と愛染道場へ柔道をやりにいって、愛染の者によく可愛いがってもらった記憶があります。

今、あれやこれやの思いが重ってなんともいえない気持です。話さなくてもよいではないか。（寄せ奴ー　いや私は

その存在を自己批判します。
富田健一（三八才）

何を書きたいのか混沌としている。思いつくままに書く。

ニッポンの落し穴。ここから毎日煙が上る。煙草のポッ、ポッとふかすと煙の輪が出来る。その輪が不定期的に上る。白くないのが悲しい。

君は釜の瘴気を信ずるか。ヨゴレの体温を信ずるか。作られし落し穴信ずるか。月明りの鉄道の水溜りに甦えりし百年来のアンコの霊魂を信ずるか。

釜の瘴気は天皇の生臭い息と知れ。

居酒で飲む溜り水は君達の赤き血潮となって釜ヶ崎を壊わすことだろう。溜めよ、今こそ溜めよ。

私は活動家でも何でもない。思いつくままに書くのが趣味である。
私は卑怯者である。
斉藤　弘（二八才）

次号予告

次号はひさしぶりにアンケートを中心として〃めし一飯場のめし、人夫出しの弁当〃を特集したいと思っています。神本の弁当は、チリメンジャコをパラパラとめしの上にのせ、小梅一つに虫二匹つき、とか、神岸は朝、飯場へつれていってめしをくわすのでくい逃げできる。などなど、ハガキを大いに使って下さい。

私の大阪地図
寺島珠雄・著　たいまつ社・刊
関東流人の留めし17年・釜・飯場他
定価1000円